

ワライカモメ

Leucophaeus atricilla / Laughing Gull [L:36-45cm, W:95-120cm]

分布 北米と中米で繁殖する迷鳥。関東、東海で8例前後の記録がある。

特徴 ユリカモメと同じかやや大きめ。① 背はウミネコに近い濃さ。② 嘴と足が長め。**成鳥夏羽** ▶ ③ 頭が黒く眼の上下が白い。嘴と足は暗赤色。**成鳥冬羽** ▶ 頭は白く、④ 眼の周囲と後方に灰黒色の斑がある。嘴と足は黒く、嘴先端に小さな赤色部がある。**第2回冬羽** ▶ 初列風切先端の白点は小さく目立

たない。飛翔時、初列雨覆に暗色斑があり、尾羽に暗色斑が残る個体も多い。

第1回冬羽 ▶ 肩羽は灰色で、雨覆も一部灰色の羽に換羽する。**第1回夏羽** ▶ 頭は一部黒くなり、不完全な頭巾状。

類似種 アメリカズグロカモメは小さく、嘴と足が短い。眼の上下の白い縁取りはより太く、成鳥の初列風切は静止時、白斑が大きく目立つ。飛翔時は翼先端が明確に異なり、白色部が多い。

アメリカズグロカモメ

Leucophaeus pipixcan / Franklin's Gull [L:32-36cm, W:86-97cm]

分布 北アメリカ中部で繁殖し、冬は南アメリカに渡る。迷鳥として5例の記録がある。

特徴 ユリカモメより小さく、① 背の灰色が濃い小形カモメ。

成鳥冬羽 ▶ ② 眼の回り、耳羽から頭頂にかけて黒っぽく、眼の上下の白い縁取りが目立つ。嘴は黒く先端が赤い。背の灰色はウミネコに近い濃さ。**成鳥夏羽** ▶ 頭は頭巾状に黒く、眼の上下に白い縁取り

がある。嘴は赤くなり、先端近くに黒斑がある。**第2回冬羽** ▶ 成鳥冬羽に似るが、静止時、初列風切羽先の白斑が小さく、飛翔時は初列風切の黒色が多く見える。**第1回冬羽** ▶ 雨覆と三列風切に黒褐色斑があり、尾羽に黒帯がある。

類似種 小形カモメは背の灰色が淡い種が多く識別は容易。アカアシミツユビカモメとクビワカモメは同程度の濃さだが識別は容易。